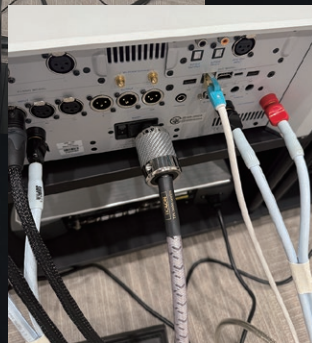




白虎のイラストとシリアルナンバーも刻印される



本誌試聴室にて、ブルメスターのネットワーク内蔵プリメインアンプ「232」にてテストする



4つの技術を全て搭載 集大成の電源ケーブル

ティグロンは今やケーブルだけではなく、スピーカースタンドやオーディオラック、ボードなど多岐にわたる製品を世界に発信するメーカーとなった。とりわけ、特許取得のマグネシウム・シールドとフィルターによる電磁波低減技術は高い評価を受け、オーディオラックやボードなどにも応用されている。ケーブルにおいてはディップフォーミング無酸素銅（DF

IOFC）を使用し、さらにオリジナルバーニン技術「H.S.E Grande」でチューニングアップ。スピーカーやインターコネクトケーブルはもちろんのこと、USBやLANケーブルなどのデジタルラインも充実させている。そのモデルラインから、今回改めて同社の頂点を成す、エクスクルーシブ・パワーケーブル「TPL-3000A-WT」を試聴してみた。本製品の大きな特徴は、外部からのノイズを遮蔽すると同時に機器の電源から発生する漏れ

**Qobuz再生の解像度や
質感、響きの豊かさが向上**

今回はブルメスターの最新モデル、ネットワーク内蔵のプリメインアンプ「232」に使用した。音質で大きく変化したことは、先

電磁波までも遮蔽する世界特許技術である「マグネシウムシールド」、安定したエネルギー伝送を実現する新たな特許技術の「Photon Technology」、バーニンの最新技術「H.S.E exclusive」、複合共振を抑制する「D-REN シース」という4つの独自技術を全て搭載することである。

の4つの技術により、静寂感、すなわちS/Nが向上し、Qobuz再生時の解像度が高まったことである。これはLAN環境で発生する高周波ノイズの影響を大幅に低減した効果であるに違いない。SACDプレーヤーから再生はピアノ・ジャズトリオだ。音質変化としては、特にシンバルの高域が分かりやすい。本ケーブルを使用するとより鮮烈で、高域が拡散されたかのような響きになる。ドラムスの表面素材の柔らかな質感や一音一音の響きの豊かさも向上し、俊敏な立ち上がりの良さまで

クラシックでは弦楽パートの膨らみある豊かな響きを存分に再生し、金管楽器に眩いほどの輝きを感じさせる。すなわち音源に内包する臨場感が鮮明になり、再生機器がアップグレードされる。どのコンポーネントでもこの効果が発揮されるが、個人的にはハイパワーのプリメインアンプやセパレーターアンプで使いたくなる。それは、オーディオシステムの根幹を成すからであり、より静寂感とワイドレンジな解像度を加えてくれるからである。本電源ケーブルはまさに長く愛用できるハイエンド・パワーケーブルである。

より静寂かつワイドレンジな解像度 機器の持ち味を最大限に引き出す ハイエンド・パワーケーブル

ティグロンの電源ケーブルの最上位モデル「TPL-3000A-WT (White Tiger)」。世界特許技術「マグネシウムシールド」と新技術「Photon Technology」、バーニンの最新技術「H.S.E exclusive」、複合共振を抑制する「D-REN シース」という4つの独自技術を全て搭載したモデルとして、絶大な評価と人気を誇っている。今回は本誌試聴室にてブルメスターの最新プリメインアンプでテスト。角田郁雄氏は改めて本ケーブルの魅力を体験している。

Text by
角田郁雄

Ikuo Tsunoda

Photo by田代法生



TIGLON TPL-3000A-WT “White Tiger”

電源ケーブル

1.2m=¥396,000(税込)／1.8m=¥435,600(税込)

※20A用コネクタタイプ(写真上)もラインアップ

Specifications

- 採用された独自の技術：①世界特許技術「マグネシウムシールド」②特許申請中の新技術「Photon Technology(フォトンテクノロジー)」③バーニンの最新技術「H.S.E exclusive」④複合共振を抑制する「D-RENシース」●プラグ：FURUTEC「FI-50 NCF(R)」●取り扱い：ティグロン(株)